

卒後臨床研修センター通信

平成24年6月号

発行: 卒後臨床研修センター



センターの活動予定

- ◆7月4日(水)
旭川医科大学病院医師臨床研修プログラム説明会・情報交換会
(詳細は左面の【お知らせ】をご確認ください)
- ◆7月2日(月) 研修医応募受付開始
- ◆7月下旬 センター通信 7月号発行



研修医 体験談 第6回 山本兼二先生

はじめまして。研修医1年目の山本兼二です。鳥取大学医学部を卒業し、4月より旭川医科大学病院でお世話になっております。

同期の研修医は私以外の全員が旭医出身者ですが、皆親切で様々な面でサポートしてもらいながら快適な研修医生活を送っております(本当に感謝しています!!)。

先日、最初の研修先である第3内科の消化管・胆膵グループでの2か月間の研修が終了しました。先生方の名前、検査室やCT室の場所、電子カルテの操作方法などわからないことだらけで始まった研修ですが、先生方や看護師の方々などの御配慮や御指導のお陰で実りあるものとなりました。毎朝の病棟カンファレンスで20名前後の患者さんの状態、治療方針を把握し、何が問題でどのような対処をするのかということ、2ヶ月間繰り返しておりました。患者さんの入れ替わりが早くて頭が混乱する毎日でしたが、どのようにして患者さんと向き合い、病態を理解し治療に結びつけるかを叩きこんで頂きました。どの先生も気さくな方々で、自分があたかも何年も前から第3内科のメンバーであるかのような錯覚を起こすこともしばしばでした(第3内科はオススメです!!)。

私の学生時代には「大学病院は雑用が多いが症例が少ない」「手技が身に付かない」等々のあまりよくないイメージが多くの学生の間で共有されていました。しかし私のこの2ヶ月間の経験では全くそのようなことはなく、様々な症例を直接経験し、自分の考えを指導医の先生にぶつけながら治療に参加することができました。また、月に3回ほどの救急当直では救急車対応や外来対応を上級医や救急部の看護師さんの完全サポートのもとで経験できます。私は旭川医大を研修先に選んで本当に良かったと思っています。

クリニカルクラークシップで各科を回っている学生さんは遠慮なく研修医に声をかけてください。将来についての悩み、研修医の給料、国試勉強のこと、クリクラレポートやカルテの書き方、どの先生が怖いか、などなどどんなことでも相談に乗りますよ。そして将来皆さんと同僚として一緒にこの病院で働ける日を楽しみにしております。



【お知らせ】

旭川医科大学病院医師臨床研修プログラム説明会・情報交換会を開催します

7月4日(水) 19:00から、旭川グランドホテルにおいて、本学医学科同窓会と合同で企画した旭川医科大学病院医師臨床研修プログラム説明会・情報交換会を開催します。

(去年の様子)



この会は平成22年度から行われており、去年は100名近くの学生さんが参加してくださいました。プログラム説明会の後に予定されている立食形式の情報交換会は、本学初期研修医や若手医師と卒業後の進路などについての様々な情報交換や、各診療科で行っている診療の内容等を先生方に伺う良い機会になると思います。参加費は無料で、大学正門前から行ききのバスを用意しています。是非この機会に、普段聞くことのできない話をどんどん聞いてみてください。本会については対象となる第4～6学年の学生さんには学内メールでご案内いたしております他、ポスターを掲示しておりますのでご参照ください。第1～3学年の学生さんで、興味をお持ちの方は下記宛てにお気軽にお問い合わせください。

◎タイムスケジュール

- 19:00 学長ご挨拶
- 19:06 初期研修プログラム説明
- 19:21 病院長ご挨拶
- 19:25 情報交換会
- 20:55 同窓会長ご挨拶
- 21:00 閉会

※18:30バス出発予定(大学正門前)

たくさんの皆様のご参加を、お待ちしております。

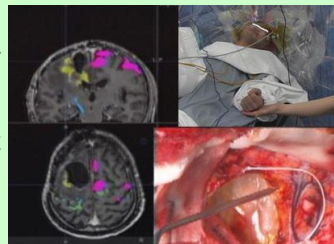


「母校を知ろう!!」

卒業後の研修先を決める際の参考にしていただくために、まず母校について紹介します。その方法としてまずこの紙面で順次1講座ずつ紹介します。さらに大学や病院内の様々な部署の教員の方から具体的な仕事の内容、働きがいはどこにあるのか、将来はどんな道が開けているのかなどをご紹介します。

母校の紹介 第6回 脳神経外科学講座

旭川医大脳神経外科では、手術中に肉眼では見るることのできない機能構造を画像化し手術に応用しています。脳機能の局在をfMRI、神経線維の走行をDTI、それらを3D画像処理することにより、肉眼では見えない正常構造と病変部をはっきりと区別することができます。そして、道内では極限られた施設でしか行うことのできない覚醒下手術も取り入れ、他大学からも見学にきており、機能を温存した手術の最先端を走っています。また、血管内手術では、道北ほぼ全域を担っており、急性期の血管内治療を要する患者さんはDr.ヘリにて当院へと搬送されてきます。脳とは救急医療における重要な位置づけであるとともに、まだまだ未知の科学的探究要素の残る奥深い臓器です。これからも、飽くなき探究心をもち前進していきます。



【お問い合わせ先】

旭川医科大学 卒後臨床研修センター
〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1 TEL 0166-68-2198 FAX 0166-68-2199
E-mail: sotsugo@jimu.asahikawa-med.ac.jp
ホームページもご覧ください。
<http://www.jimu.asahikawa-med.ac.jp/shomu/sotsugo/>